

実習概要

- 実習期間：平成27年8月1日（土）～8月30日（日）【30日間】
- 実習生：立教大学学生 1名
- 実習内容：①小豆島ふるさと村の観光業務体験
②観光メニュー等の企画立案（ウォーキングマップ作成）
③SNSによる情報発信

取組状況



<カヤック体験補助作業状況>



<つり体験受付業務状況>



<キャンプ場ゴミ分別収集状況>

実習成果

・ 観光メニューの作成状況等



・ スタッフとの打合せ状況等



・ 実習成果素案



今後の改善点

研修スケジュールについて、研修生の希望、目的に応じて学生自身が作成したため、受け入れ側主導での先導主体がはっきりとしていなかった。そのため、研修生の希望、目的の到達度に影響したと思われる。今後は受入施設として、もっと具体的に業務内容を明示するよう、事前準備とスタッフ体制を整えることを心がけたいと考えており、道の駅、大学、学生が、事前に立場ごとの期待するもの、求める目標到達値、行いたい特定のテーマ等を共有することで、さらにお互いの思惑が、合致することになると考えます。

学生からの感想

「小豆島ふるさと村」は、全国でも珍しいカヤックやキャンプ場などの体験できることから興味があり、参加しました。小豆島へ来て、まず地域の魅力を探ることから、島内を散策しました。観光業務体験では、主にキャンプ場やカヤック補助等をメインに実施しました。そこで得られた経験をベースに、授業では経験することのできないSNSを使った情報発信、ウォーキングコースとサイクリングコースの考案などは、日々の授業で学んだ知識を活かすことができ、今後の卒論研究やゼミでの活動に結びつけていきたいと考えます。そして何より、さまざまな小豆島の魅力を理解し、SNSやカヤック業務で他人に伝える楽しさは、実際にインターンシップに参加することで、小豆島に生活し、働いたからこそ得ることができました。最後に私が考える今後の小豆島ふるさと村は、道の駅という伝わりやすいコンセプトを前面に出し、それを基盤とした施設作り、情報発信が必要だと感じました。